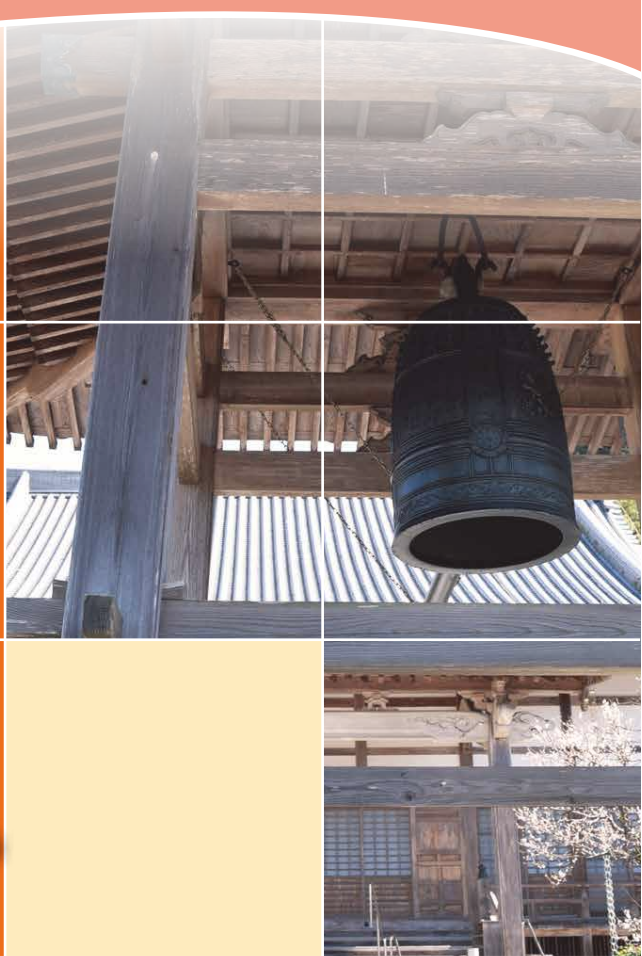


まなぶんか

2016
SPRING
No.12

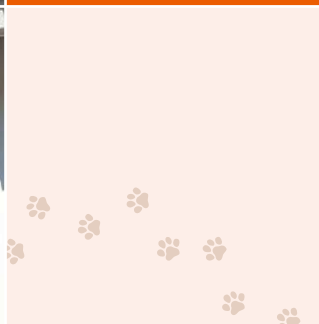


春の 城下町さんぽ



Contents

- P.02 春の城下町さんぽ
- P.06 学芸員のひとりごと
- P.07 イベントスケジュール
- P.08 まちがいさがし



1 宮崎市佐土原歴史資料館 商家「旧阪本家」



旧阪本家は、味噌と醤油造りの商家でした。外観は白壁の土蔵造り、海鼠壁や弁柄(紅がら)塗りの格子。屋根には鍾馗瓦をはじめネズミやオカメさんなど、商売繁盛を願ったこだわりが随所にちりばめられています。一歩中に入ると、味噌や醤油を量り売りしていた痕跡の残る土間。商談を行う客間として細工の施された建具など、明治の時代を肌で感じる空間です。二階には、生活用具や商売道具の展示もあります。



京都等を中心に、魔除けや縁起物として町家の屋根にあげる文化が始まった、鍾馗瓦。九州にはなかったこの文化が伝わり、実物の鍾馗瓦を見られるのは、宮崎ではここだけなのです!その他、屋号を刻んだ「瓦」なども必見です。



佐土原の歴史をわかりやすく解説してくれる、宮崎市佐土原歴史資料館の大戸主事(右)とボランティア「鶴松館ガイドの会」の小林康生さん(左)。

【開館時間】9:00~16:30 【見 学】無料
【休 館 日】毎週月曜日(祝日のときは翌日)、年末年始・祝日の翌日

阪本鯨ようかん店



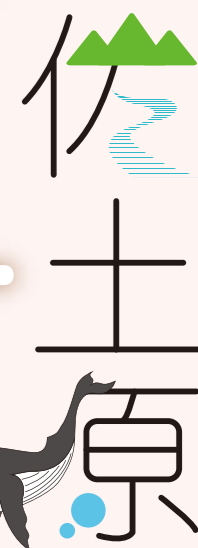
佐土原地区の名物スイーツ、言わずと知れた「鯨ようかん」。阪本鯨ようかん店は、そうず、商家資料館「旧阪本家」とご親戚関係にあたるお店。「お菓子の刺身」などといわれることもあり、ぜひもちもちの出来立てをほおぼりたい!

佐土原人形 ますや

かつて十数軒あった佐土原人形製作店も今ではわずか2軒。創業150年、ますやさんはまさに「元祖」。六代目に代替わりしてもなお、初代の原型を代々受け継ぎ、現在も佐土原人形を製作されています。明治時代に人気を博した歌舞伎人形など、貴重な表情の人形に癒されること、間違いなしです。



春の城下町さんぽ



SADOWARA

4 愛宕神社



佐土原藩の祈願七社「愛宕大権現」として重要な神社と位置づけられる愛宕神社は、伊邪那岐命(いざなぎのみこと)が生んだ火の神 火之迦具土神(ひのかぐつちのかみ)が祀られていることから、火除けの益があるとされています。写真は本堂に向かう石段の様子。登りきった後の景色は格別です。桜の時期には本堂前の桜のアーチが参拝者を迎えてくれます。



ちょっとお土産

火除けのお守りの中に佐土原町人ならではの楽しい演出があります。名物ダンジリ喧嘩祭りをモチーフにした交通安全祈願のお守りです。ダンジリになぞらえ赤と青の二種類があります。各500円。

3 佐土原小学校(学習館跡)



右読みで「学習館」と1825年(文政8)当時の看板が残る現在の学び舎、佐土原小学校正門。門構えも当時を彷彿させる武家門になっており、左右には拡大された郷土玩具「うずら車」と「神代独楽」が鎮座しています。

2 金柏寺 積迦堂



陶板マップは鶴松館などで入手可能。

戦国時代の武将 伊東義祐が建立したとされる金柏寺。西南戦争(明治10年)で本堂が炎上。町人が大仏を救おうとし上半身のみが残った仏体が、現在祀られています。また、金柏寺をはじめ、佐土原地区一円の史跡や公園など全30箇所に、由来の書かれた陶板が設置されています。ゆっくり回ってみるのもいかがでしょう。

昭和初期まで商人の町として栄えたこのエリアは、高台に建立する愛宕神社をはじめ、多数の神社仏閣に囲まれ落ち着いた雰囲気ですが、毎年7月になると伝統の「ダンジリ喧嘩祭り」が行われる血気盛んな面も。そして、かつては歌舞伎座があり、その鑑賞土産であったという歴史を持つ素朴な伝統工芸品—佐土原人形など文化的な風土も。多種多様な業種が軒を連ねた歴史を感じる、とても魅力的なエリアです。商人町の時代に思いを馳せつつ散策してみたいかがでしょう。

すつかり、時代劇のセットに迷い込んだ気分、田の暖簾をくぐれば番頭さん…もとい、当館職員がお出向いたします。時には、宮崎市佐土原歴史資料館ボランティア「鶴松館ガイドの会」の皆さんも共に、施設のことやこの地区のことを詳しく解説いたします。

津佐土原藩の城下町として知られる、西佐土原地区。表通りから一筋路地に入ると、大小の神社や鳥居が並び、周りの山々からの緑の香り、お昼と夕刻にはお寺の鐘の音も聞こえてくる、雰囲気のある住宅街が広がります。この一角に白壁まぶしい「ますや」、お屋敷!といった佇まいの建物が宮崎市佐土原歴史資料館商家「旧阪本家」です。本資料館は、宮崎市指定有形文化財であり江戸時代の商人町の様子を今に伝える、貴重な建物なのです。さらには、宮崎県庁本館、宮崎県文書センターに並び、宮崎市景観重要文化財の一つでもあるのです。ちなみに、4ページ掲載の河上家と安藤家武家門を含む5つが、宮崎市景観重要文化財となっています。

島

津佐土原藩の城下町として知られる、西佐土原地区。表通りから一筋路地に入ると、大小の神社や鳥居が並び、周りの山々からの緑の香り、お昼と夕刻にはお寺の鐘の音も聞こえてくる、雰囲気のある住宅街が広がります。この一角に白壁まぶしい「ますや」、お屋敷!といった佇まいの建物が宮崎市佐土原歴史資料館商家「旧阪本家」です。本資料館は、宮崎市指定有形文化財であり江戸時代の商人町の様子を今に伝える、貴重な建物なのです。さらには、宮崎県庁本館、宮崎県文書センターに並び、宮崎市景観重要文化財の一つでもあるのです。ちなみに、4ページ掲載の河上家と安藤家武家門を含む5つが、宮崎市景観重要文化財となっています。

1 高岡麓武家住宅



歴史的資産の保存と地域交流及び憩いの場としての活用を図るために、平成18年宮崎市が建物の寄付を受け、現地から東に300mに建てていた「本吉家」を現在の場所に移築した施設が、この高岡天ヶ城麓武家住宅です。この敷地の東側には、元この敷地にあった「吉富家」の武家門、そして南側には住宅とともに移築した「本吉家」の武家門、二つの武家門を見ることが出来ます。

この武家住宅、土日、祝日のみの公開ですが、見学だけではなく、お部屋を集まりやお茶会などで借りることも出来ます。これまでに、法事や演奏会での利用もあったとか。



写真は管理組合員の松浦季さん。管理組合員9名の方が語り部となって施設や地域の歴史を話していただけます。

【公開日】土曜日・日曜日・祝日 【時間】9:00~17:00
【見学】無料 ※部屋利用は有料

あわせて立ち寄りたい

手づくり団子みゆき



ふわふわのいも大福は絶品!数量限定で早い日には午前中で完売することもお散歩のお供に。



駄菓子屋さん 戸高商店

昭和28年から街の移り変わりをみてきた、昔ながらの商店。ご主人考案・設計の特製駄菓子棚も必見!?

宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館 天ヶ城公園



4 龍福寺仁王尊



かつてこの地にあった龍福寺の守護神で、口を開いた像を金剛(阿像)と、口を閉じた像を力士(転像)。江戸時代の高岡の豪商、横山勘兵衛により奉納されたと言われていました。表通りから少し入った通りで不意に出会える仁王様です。

この地区の魅力は、移り住んでくる方が多いこと、この地区の魅力を表しています。散歩で小腹が空いたら、地元商店や甘味処をのぞいてみるのも、コンパクトにまとまった城下町散歩の楽しみの一つです。

3 高岡小学校校門



歴史を感じさせる石門と石垣、その奥には木材をふんだんに使ったモダンな現在の高岡小学校がみえ、広い校庭から元気いっぱいな子どもたちの声が聞こえ、学び舎の今昔を感じます。石門を入るとすぐ左手に、河上家武家門と高岡小学校の前身「練士館」跡地を見ることが出来ます。

2 武家門

※武家門の多くは現在も個人宅としてお住まいですので、見学にはご配慮ください。



「武家門」と一口に言っても、長屋門、観音開門、引戸門の3種類があります。宮崎市指定有形文化財の河上家武家門、市来家長屋門、安藤家武家門をはじめ、今なお現役で使われている武家門を見ることが出来ます。安藤家武家門は、交流広場の公園が隣接しており、いつでも出入りすることができます。

指定文化財の武家門をはじめ、この地区ではあちらこちらに石垣が見られ、通常の住宅街とは違う、歴史の面影残る街並みを堪能することができます。この地区の日常に溶け込んで佇む武家門は、当時のまま今も個人宅の門として使われています。また、新築の際に石垣を修復したり復元するお宅もあり、代々文化が受け継がれている様子が、麓地区の土地柄そのものが歴史の語り部であるかのように感じられます。そしてまた、この地に惚れ、外部から移り住んでくる方が多いというのも、この地区の魅力を表しています。散歩で小腹が空いたら、地元商店や甘味処をのぞいてみるのも、コンパクトにまとまった城下町散歩の楽しみの一つです。

武 家住宅のある高岡麓地区の路地は、まるで京都の路地を散策している感覚になります。高岡麓地区は、1601年(慶長6年)頃から高岡、綾、穆佐、倉岡(関外四外城)の防備のために建築が始まったといわれています。当時、天ヶ城の城下町として武家住宅街、商人街、そして大淀川の商業地区とエリアに分かれ、支えあいや繋がりの深い城下町の構えを成していたようです。



武家門、文化遺産

企画展

たかおか草花さんぽ展

4月23日(土)～5月22日(日)



大淀川流域を含めた高岡のおススメな「草花の見どころ」をご紹介します。さらに、島津家ゆかりの高岡だからこそ残る、島津家と大きく関わりのある植物にせまり「歴史と植物」にスポットを当ててご紹介します。また、「食べる」「遊ぶ」など生活に活かせる植物の活用例についてご紹介します。

【会場】宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館 1階企画展示室

【時間】9:00～16:30 【料金】無料

企画展

佐土原人形展

4月23日(土)～5月22日(日)



5月5日の「端午の節句」を前に、武者人形や歌舞伎人形など素朴な味わいのある佐土原人形を展示します。佐土原人形を生んだ佐土原藩の城下町の佇まいを残す商家「旧 阪本家」にて、ゆつくりとご覧ください。本展では、人形と共に佐土原の大正・昭和期の古写真も併せて展示します。

【会場】宮崎市佐土原歴史資料館 商家「旧 阪本家」

【時間】9:00～16:30

【料金】無料

春の特別
企画展水の生き物と仲良くなろう！
～ザリガニ展～

4月9日(土)～6月12日(日)

子どもたちに大人気の「ザリガニ」とふれあえる企画展です。ザリガニのおもしろい生態について学んで、ザリガニ釣りに挑戦してみませんか？期間中いつでもご覧いただけます。

【会場】大淀川学習館2階企画展示室 【対象】どなたでも
【定員】ありません 【料金】無料 【申込】不要です

各館問い合わせ先



宮崎科学技術館 ()内は団体料金

展示室【大人540円(430円)、子ども210円(170円)】

展示室とプラネタリウム【大人750円(600円)、子ども310円(250円)】

〒880-0879 宮崎市宮崎駅東1丁目2番地2

TEL 0985-23-2700 FAX 0985-23-0791

http://cosmoland.miyabunkyo.com

宮崎市歴史資料館 <http://rekishi.miyabunkyo.com>

みやざき歴史文化館 <入館料無料>

〒880-0123 宮崎市大字芳土字岩永迫2258番地3

TEL 0985-39-6911 FAX 0985-39-9297



宮崎市佐土原歴史資料館 <入館料無料>

〒880-0301 宮崎市佐土原町上田島8202番地1

TEL 0985-74-1518 FAX 0985-74-4655



宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館 <入館料無料>

〒880-2221 宮崎市高岡町内山3003番地56

TEL 0985-82-2950 FAX 0985-82-2927



大淀川学習館 <入館料無料>

〒880-0035 宮崎市下北方町二反五瀬5348番地1

TEL 0985-20-5685 FAX 0985-22-8481

http://oyodo.miyabunkyo.com



宮崎市民プラザ

〒880-0001 宮崎市橘通西1丁目1番2号

TEL 0985-24-1008 FAX 0985-29-2244

http://www.siminplaza.com

「まなぶんか」とは

“文化”を英訳するとCulture。語源はラテン語で“耕す”を意味するColereです。当協会では、管理運営している6つの教育文化施設が、市民の皆様の学ぶ心を“耕す”役割となれるよう、「学ぶ」と「文化」を合わせた「まなぶんか」を機関誌名としました。

Column

学芸員のひとりごと

みやざき歴史文化館 学芸員 松下 朋生

近年、パワースポットブームとともに神社仏閣に訪れる若者が増え、「御朱印集め」が流行しています。御朱印とは本来、参拝者が納経する際に頂いていた印でしたが、時代が下るにつれて納経しなくても参拝の証として頂けるようになりました。御朱印は、お守りやお札と同じく神仏や寺社の名前も書かれており、ご本尊やご神体の分身ともいえます。決して「記念スタンプ」ではありませんので、取扱いは注意して頂きましょう。

私は福岡県の太宰府天満宮に参拝した際、御朱印を書いて頂いた方から太宰府天満宮の敷地内にある開運の神様で有名な「天開稲荷社」を紹介されて参拝したことがあります。

神社に向かう道中、参拝者も疎らで足場も悪く、神社まで本当に着くのだろうかと不安でしたが、稲荷社の連なる綺麗な鳥居が見えた時はホッとしたことを覚えています。また、パワースポットとして有名な「奥の院」まで進むと、石室のような洞穴の中にお社があり、中に入ると外の音が遮断され狭く、とてもスピリチュアルな空間で印象的な神社に巡り合うことができました。

このように、御朱印を書いて頂いた方からその寺社に関するこぼれ話を教えていただくこともあり、御朱印が紡ぐ「縁」を感じます。ぜひ寺社を参拝する際は、御朱印を頂いてみてはいかがでしょうか？

※寺社によっては御朱印を行っていないところもあります。



イベントスケジュール

【宮崎科学技術館】  Facebookもチェック!!

絵本の読み聞かせ in プラネタリウム

4月12日(火)・5月10日(火)・6月14日(火)

プラネタリウムホールで、絵本の読み聞かせを行います。プラネタリウムの映像システムを使った楽しい演出もありますよ。ホール内がまるで絵本の世界に… いろいろなと違ったプラネタリウムをお楽しみください。

【会場】3階プラネタリウムホール 【時間】10:00~10:30 【料金】入館料のみ

科学技術週間工作教室 4月23日(土)・24日(日)

4月18日~24日は科学技術週間です。当館では関連イベントとしてプロペラで高く飛ぶおもちゃ「スカイスクリュー」を作る工作教室を行います。

【会場】1階みんなの工作室 【料金】入館料のみ
【時間】①9:30~、②10:45~、③13:15~、④14:00~、⑤15:00~

キッズプラネタリウム 4月28日(木)・6月23日(木)

小さなお子様向けのプラネタリウムです。いつもよりちょっと明るいプラネタリウムで星のお話をします。

【会場】3階プラネタリウムホール 【時間】10:00~10:30 【料金】入館料のみ

みんなでキラキラ星空コンサート ~こどもの日スペシャル~

5月5日(木・祝)

星の話、ライブコンサートの2部構成です。プラネタリウムが映し出す美しい星空と楽しい音楽を家族そろってお楽しみください。

【会場】3階プラネタリウムホール 【時間】17:30~19:00
【料金】高校生以上 200円(当日券300円)
4歳~中学生 100円(当日券200円) ※3歳以下は無料

科学と遊ぶこどもの日 全館無料開放日

5月5日(木・祝)

5月5日は毎年恒例、全館無料開放日です。チャレンジサイエンス「ミニこいのぼりづくり」や「JSC不思議なサイエンスショー」などのイベントも開催します。

【会場】全館 【時間】9:00~16:30 【料金】無料

地球を守ろう! 環境展 5月21日(土)~6月5日(日)

環境に関する展示のほか、環境に関するイベントなどを行います。

【会場】1階多目的ホール 【時間】9:00~16:30
【料金】無料 ※他の展示室やプラネタリウム観覧には料金がかかります。

この他にもいろいろなイベント・教室を企画しています。
詳しくは、当館HPなどをご覧ください。

休館日
4月 4日(月)・11日(月)・18日(月)・25日(月)
5月 2日(月)・6日(金)・9日(月)・16日(月)・23日(月)・30日(月)・31日(火)
6月 6日(月)・13日(月)・20日(月)・27日(月)

【大淀川学習館】  Facebook、 Twitterもチェック!!

ザリガニ釣りに挑戦

4月29日(金・祝)

屋外特設会場にて、ザリガニ釣りを楽しむことができます。ザリガニは1匹お持ち帰りできます。

【会場】当館池周辺の会場(2階レクチャー室にて13:00より受付開始)
【時間】13:30~15:00

参加費:100円 小学生以下(小学生以下は保護者同伴) 100名

新聞紙でかぶと飾りを作ろう

5月3日(火・祝)

こどもの日にあわせて新聞紙でかぶと飾りを作ります。簡単な工作なのでお気軽にご参加下さい。

【会場】2階実験・工作室 【時間】14:15~15:30 どなたでも 40名

カブトムシの幼虫を育てよう!

5月4日(水・祝)

宮崎科学技術館でチケットを配布しています。チケットを持って来館されると、カブトムシの幼虫をプレゼント。お1人様1枚限りです。

【会場】エントランス周辺 【時間】9:00~16:30

チケット先着制
なくなり次第終了

ミニつり大会

5月5日(木・祝)

屋外特設会場にて発泡スチロールでできた魚を釣り上げて遊びます。参加賞があります。

【会場】当館池周辺の会場(2階レクチャー室にて13:00より受付開始)

【時間】13:30~15:00 小学生以下(小学生以下は保護者同伴) 100名

オオムラサキのおはなし

6月11日(土)

先生から日本の国蝶とされるオオムラサキについての解説を聞くことができます。

【会場】チョウのへや 【時間】13:30~

休館日

4月 4日(月)・11日(月)・18日(月)・25日(月)

5月 2日(月)・6日(金)・9日(月)・16日(月)・23日(月)・30日(月)

6月 6日(月)・13日(月)・20日(月)・27日(月)

【宮崎市歴史資料館】  Facebookもチェック!!

みやざき歴史文化館

企画展

歴史文化館のあゆみ展

【会場】2階ホール

平成27年度に実施した体験学習などを写真で振り返ります。

4月16日(土)~5月8日(日)

こどもの日イベント

5月3日(火・祝)~5日(木・祝)

鑑兜の試着体験やまが玉、うぐいす笛作りなど様々なイベントを行います。


【会場】みやざき歴史文化館

企画展

今昔白黒写真帖 5月21日(土)~6月19日(日)

昔懐かしい宮崎の風景を白黒写真パネルで紹介いたします。

【会場】1階企画展示室

● 宮崎市佐土原歴史資料館  Facebookもチェック!!

体験学習

山城探検

4月24日(日)

佐土原城址の構造や歴史を学びながら、楽しく探検します。

【会場】佐土原城址 【時間】10:00~12:00

申込必要

一般・親子 30名

イベント

春の鶴松館 写真撮影会

5月28日(土)

佐土原城址や花しょうぶ、鶴松館を被写体に、楽しく写真撮影をします。講師:加藤孝二氏

【会場】鶴松館及びその周辺

【時間】10:00~12:30

申込必要

一般 20名

体験学習

生け花体験

6月12日(日)

お城の大広間で花を生け、日本の伝統文化に触れます。講師:鶴松館生け花ボランティアの会


【会場】鶴松館大広間

【時間】10:00~12:00

材料費:1,000円

申込必要

一般 20名

● 宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館  Facebookもチェック!!

企画展

ワークショップ「草木染め」

5月4日(水・祝)

ヨモギを使ってシルクのハンカチを染めます。

【会場】資料館1階体験ルーム 【時間】9:30~11:30

材料費:300円

申込必要

幼児から一般 30名

企画展

ワークショップ「草もち作り」

5月5日(木・祝)

端午の節句にちなんで、ヨモギを使った草もち作りをします。

【会場】資料館1階体験ルーム 【時間】9:30~12:00

材料費:100円

申込必要

幼児から一般 30名

企画展

回想たかおか ~あふれる思い出~展

6月4日(土)~7月3日(日)

なつかしい高岡の様子を写真や民俗資料などで紹介いたします。

【会場】1階企画展示室 【時間】9:00~16:30

休館日

4月【3館共通】 4日(月)[天ヶ城は開館]・11日(月)・18日(月)・25日(月)

5月【3館共通】 2日(月)・6日(金)・9日(月)・16日(月)・23日(月)・30日(月)

6月【3館共通】 6日(月)・13日(月)・20日(月)・27日(月)

ま ち が い さ が し

まちがいを見つけ賞品をGETしよう!!

応募者の中から抽選でステキな賞品をプレゼント。

佐土原伝統工芸品
●うずら車

2名様



宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館
ワークショップ

●「草木染め」「草もち作り」
共通招待券

5名様

Let's try!!
全部見つけれられるかな?



上の写真にはまちがいが5つ隠れています。
下の写真と見比べながら探して下さいね。



締切 平成28年5月31日(火)
消印有効

当選は発送をもって替えさせていただきます。

応募方法

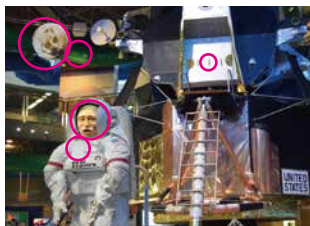
- まちがいの場所(5つ)を全てサインペン(油性)で囲んで、点線に沿って切り取り、剥がれないようにしっかりと官製ハガキに貼付けてください。※コピー不可
- 住所・氏名・学年(職業)・電話番号を明記の上、下記住所までご応募ください。

宛て先

〒880-0879 宮崎市宮崎駅東1丁目2番地2
「まなぶんか まちがいさがし」係

お問い合わせ先

(公財)宮崎文化振興協会(担当:上口)TEL.0985-41-7004



【前号の答え】

- 地球が月に変わっている。
- ロケットがなくなっている。
- 取っ手が増えている。
- 博士の顔がある。
- ワッペンが消えている。

※応募にあたりご記入いただいた個人情報は、抽選および賞品の発送以外の目的に使用することはありません。

宮崎サンシャインFM
76.1Mhz

www.sunfm.co.jp

毎週金曜日16:00~18:55放送の
“夕焼けワイド若草通りはパラダイス”内
「文化振興協会だより」にて催事情報を放送中!!

北半球一の
印刷会社を
目指して

あそび心が無い
企画・制作・印刷は
どこでもおなじ
好奇心いっぱいの制作物は
人も心もうごかします

北一株式会社
KITAICHI CO.,LTD.

〒880-0903 宮崎市太田3丁目1-31 TEL.0985-51-5100 FAX0985-53-5640
URL <http://www.kita-ichi.jp>
facebook:kitaichi,corporation twitter:kita_ichi



右が佐土原人形の代表、饅頭喰い人形

編集後記

「饅頭喰い男子現る!」

佐土原と高岡地区の特集いかがでしたか。取材時は2月中旬と若干肌寒くはありましたが、さすが「日本のひなた原」。陽射しのなか、昔の面影を残す街並み散策は、その空気感に心が和むと言っか、落ち着くと言っか、なんとも心地よい時間の流れを感じることができました。取材の楽しみは、発見や出会いそして、美味しいものだったり。同行いただいた印刷会社の担当Kさんと二人して、甘味処の取材後にはしっかりと大福やお饅頭の袋。お腹周りが気になるお年頃のスイーツ男子…ま、歩いてカロリー消費つてことでよしとします。まなぶんか片手に、春のおさんぽに出かけてみませんか?

【経営戦略課 上口】